

「大学・高専連携事業基金」事業
第9回 グローバル・コミュニケーション・プログラム(GCP)
参加学生募集要項【IEP推薦制度用】

1 目的

国際的に活躍できる人材の輩出を目指し、2大学1高専（東京都立大学（以下、「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以下、「産技大」という。）及び東京都立産業技術高等専門学校（以下、「高専」という。））の学生が、所属や年齢が異なるメンバーでチームを編成し、共通の課題に取り組むことで課題解決力（人間力）や英語を含むコミュニケーション能力を身に付けながら、国際的な感覚を養うことを目的とする。

2 プログラム概要

グローバルビジネスに関連したテーマを題材とし、リーダーの明確なリーダーシップのもと調査研究、仮説設定・検証を行い、課題に対する提言を行う。

参加学生は、本プログラムを通じてグループワーク、英語研修、国内及び海外でのフィールドワーク、海外学生との協働による調査や交流等を行い、国際感覚溢れる実践的な課題解決力（人間力）を身に付けるとともに、英語を含むコミュニケーション能力の向上を図る。

3 求める人材

- (1) チームで協調しながら課題に取り組める学生
- (2) 海外での多様な体験を通して国際的な感覚を養うことに意欲的な学生

4 対象者

第1～4学年（募集時の学年）で過去IEPに参加した者

※ただし、過去にGCPに参加したことのある者、授業料未納者は除く。

※第5学年及び専攻科生については、この募集要項ではなく、「第9回グローバル・コミュニケーション・プログラム チーム リーダー募集要項」を参照のこと。

5 募集人員

30名（大学生、大学院生とともに3～6名からなるチームを編成する。）

6 プログラム実施における感染症対応

本プログラムは、原則として感染症対策を講じた上での参集実施を想定しているが、新型コロナウイルス感染症等の状況により適宜オンラインに切り替える等の対策を行う。

また、特にシンガポール渡航やフィールドワークを含めた国内外の現地における活動等については、国内海外それぞれの社会的状況及び外務省が発出する海外安全情報における感染症レベルの変更等により実施が困難と判断した場合、これを行わず、オンラインによる代替プログラムを実施する。

7 実施時期及び期間

- (1) 国内におけるプログラム：2021年4月～2021年11月
- (2) 海外におけるプログラム：2021年8月中の9日間程度

8 海外における現地活動プログラム実施場所

シンガポール共和国

9 プログラム実施内容（予定）

(1) 国内におけるプログラム【事前学習】

ア 課題学習

- ・下記の課題についてチーム毎にテーマを設定、調査・研究の実施、仮説の立案
- ・国内フィールドワーク（テーマに関連する企業などへのインタビュー等）
- ・各チーム合同による課題学習の中間発表、有識者による講義受講、国内合宿 等
- ・各チームの進捗確認等を全体で実施（月1回程度）

<課題>

国際的人財育成のためのグローバルビジネス研究プロジェクト

ー世界に羽ばたく国際人へのジャイアントステップー

高専生メンバー数名と都立大生・産技大生・高専専攻科生のいずれかのリーダーとでグループを作り、シンガポールの同年代の学生や国内外の企業等の協力を得て、グローバルビジネスについて調査研究し、最終的に提案を行う。

- ・課題学習の詳細に関しては、別紙1を参照すること。
- ・チーム毎の調査テーマは、プログラム開始時に、リーダーが中心となって設定する。

【参考】 過去のグローバル・コミュニケーション・プログラム調査テーマ

「未来の心をデザインする-からっぽ SNS の是正-」

「国際交流への第一歩」

「学生の通学時間を快適に！」

「日本版ホーカーセンターの提案」

「人生100年時代×モビリティ」

「秋田愛向上プロジェクト-Make Akita a Shining Star-」

イ 英語学習（コミュニケーション能力向上研修、プレゼンテーション研修）

- ・コミュニケーション能力向上研修（週1回 計12回程度）
- ※コミュニケーション能力向上研修について、チームメンバー（高専本科生）は、研修支援会社の設置する各教室または本校にて受講予定
- ・プレゼンテーション研修（1日間程度、7月実施予定）
- チーム毎の受講とする予定

ウ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（4～6月に受験予定）

(2) 海外におけるプログラム

ア 課題学習

・海外フィールドワーク（テーマに関連するインタビュー等）

イ 英語による現地学生との協働調査・交流・合同プレゼンテーション

ウ 日系海外企業の事業調査

(3) 国内におけるプログラム【事後学習】

ア 報告書の作成、最終報告会の実施

イ プレゼンテーション研修（3日間程度、9～10月実施予定）

ウ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（9～11月に受験予定）

(4) スケジュール（予定）

		全体スケジュール	課題学習	英語学習	
2021	4月	○オリエンテーション ○TOEIC、RIASEC 受験 ○全体研修①	○テーマ設定 ○個人目標設定 ○現状の把握 ○課題の把握・分析、解決策の検討 ○仮説の立案 ○中間報告におけるプレゼンテーション準備 ○国内フィールドワークの実施 ○プレゼンテーション準備及びフィールドワーク準備等 ○進捗確認等（月1回程度）	○コミュニケーション能力向上（チームメンバー：研修支援会社が設置する各教室または本校にて英会話講座受講を予定）（週1回 計12回程度）	
	5月	○全体研修②			
	6月	○国内合宿（全体研修③） 都内での合宿、3日間程度 ○中間報告会			
	7月	○全体研修④ ○プレゼン研修①			○英語プレゼンテーション準備（1日程度）チーム毎に受講予定
	8月	海外学習 ○渡航前説明会 ○シンガポール派遣		○課題の検証（フィールドワーク） ○英語によるプレゼンテーション ○現地学生交流 ○企業調査	
	9月	事後学習 ○全体研修⑤ ○TOEIC、RIASEC 受験 ○プレゼン研修②		○中間報告会および海外学習での指摘や調査を踏まえ内容の精査	○英語プレゼンテーション準備（1日程度）チーム毎に受講予定
	10月	○プレゼン研修③～④ ○全体研修⑥ ○最終報告会			○英語プレゼンテーション準備（2日程度）チーム毎に受講予定
	11月	○全体研修⑧			

※全体スケジュールは、全員参加とする。

※課題学習は、原則としてチーム学習を基本とする。

10 経費負担

(1) 参加者個人負担分

(2) 以外の諸経費（フィールドワークにかかる交通費、食事代等）は自己負担とする。

<例>

ア 国内及び海外プログラム（上記8参照）期間中の交通費（一部）及び食事代

※国内合宿に係る食事代を含む。

※国内プログラムに係る交通費を一部補助する。

イ パスポート申請手数料

ウ 海外旅行保険料（個人用）

エ 英語学習に係るテキスト代

オ その他個人で支出する費用

(2) 東京都公立大学法人負担分

ア 海外プログラムに係る渡航費及び宿泊費

イ 国内及び海外プログラムに係る研修受講料

ウ 国内合宿に係る宿泊費

エ 国内及び海外プログラムに係る諸経費

オ TOEIC 受験料

11 出願

(1) 出願書類

ア グローバル・コミュニケーション・プログラム参加申込書兼承諾書

(I E P 推薦制度)【様式1】

イ 小論文【様式2】

※【様式1】【様式2】は手書き、横書きで記入、もしくはワードファイルで作成でも可。ワードファイルで作成する場合、文字サイズの目安は【様式2】を参照すること。(【様式1】【様式2】は本校HP (<http://www.metro-cit.ac.jp/>) からダウンロード可能)。

ウ TOEIC スコアの原本または写し（任意）

※2018年3月以降に受験したものに限り。原本の場合は確認後、返却する。

エ 国際交流ルーム（GCO）のポイントカードの写し（任意）

(2) 出願方法

上記(1)の書類に必要事項を記入の上、所属キャンパスの管理課教務学生係へ提出する。

(3) 提出期限

2020年12月23日（水）17時

1 2 選考

(1) 選考方法

- ・小論文及び面接
- ・本校に設置している国際交流ルーム（GCO）の利用ポイントも評価に含める。

(2) 面接の実施

2021年1月初旬に実施する。

日時・場所については別途指示する。なお、定められた面接実施日に欠席した者は応募辞退とみなす。

(3) 参加学生の決定方法

小論文、面接、国際交流ルーム（GCO）の利用ポイントなどの結果を総合的に判断し、プログラム参加学生を決定する。

1 3 結果の通知

合否に関わらず、応募者全員に選考結果を通知する。

1 4 応募書類に記載された個人情報の利用について

応募により提供された個人情報は、選考及び本プログラム実施の目的以外には使用しない。

1 5 特記事項

海外におけるプログラム実施前に、戦争、テロ、自然災害、感染症等が発生した場合、派遣を延期または中止することがある。また、派遣中に同様の事態となった場合においても、帰国の勧告又は命令を行うことがある。

1 6 その他

- (1) 全体スケジュールに掲載されているものについては、原則として全員参加すること。
欠席の状況によっては今後のプログラムへの参加を取り消す場合がある。
- (2) 本プログラムを通じて、TOEICスコア400点以上の取得を目標とする。
- (3) 本プログラムの受講生が、シンガポール派遣終了後に、最終報告会での発表を行わなかった場合は、往復海外航空券代金及び宿泊費用の全額を負担させる場合がある。
- (4) 本プログラムを受講した者は、その経験を活かし、次年度以降の国際化事業に協力すること。

1 7 問合せ先

高専品川キャンパス管理課教務学生係（電話：03-3471-6331）

高専荒川キャンパス管理課教務学生係（電話：03-3801-0145）